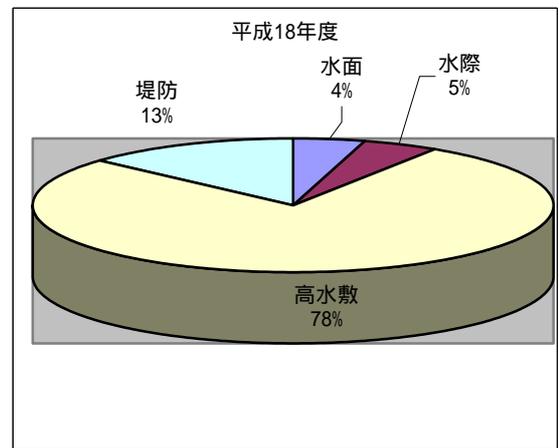
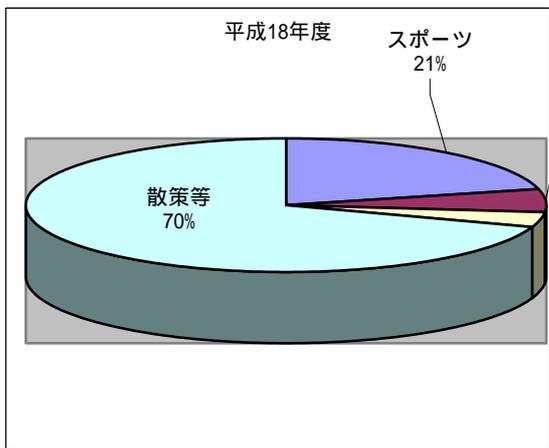
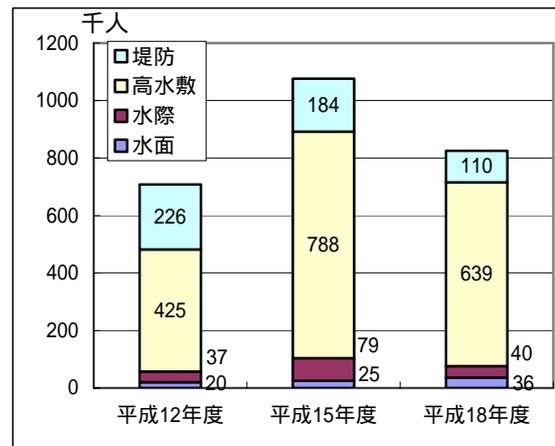
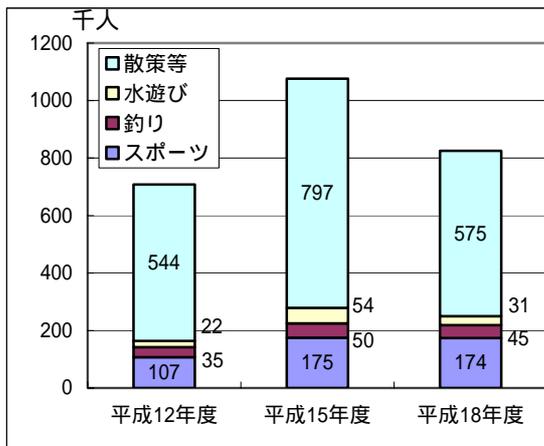


## 7. 河川空間の利用状況

河川の利用については、小安峡や抱返り渓谷等の景勝地における観光、堤防や高水敷における散策やスポーツ、釣りなどに利用されている。特に、下流から上流にかけて堰などの河川構造物が少ないことから、カヌーの利用が盛んであり、NPO団体によるカヌー教室やカヌー観光、カヌー体験と併せたクリーンアップ等をはじめ、流域内で各種の活動が盛んに行われている。また、明治43年に始まった「全国花火競技大会(大曲の花火)」は毎年8月に大仙市の高水敷で行われ、70万人以上の観客が訪れる伝統行事として全国に知られている。この他、「<sup>かしまなが</sup>鹿嶋流し」や「ぼんでん奉納」等の川と深い関わりを持つ祭りが各地に伝わり、毎年行われている。

さらに、水辺の楽校やカヌーに配慮した船着き場などの整備が行われており、これらの水辺拠点を中心に水質調査などの体験学習が実施され、総合的な学習の場として活用されている。



利用形態別 単位：千人

項目	平成12年度	平成15年度	平成18年度
スポーツ	107	175	174
釣り	35	50	45
水遊び	22	54	31
散策等	544	797	575
合計	708	1076	825

利用場所別 単位：千人

項目	平成12年度	平成15年度	平成18年度
水面	20	25	36
水際	37	79	40
高水敷	425	788	639
堤防	226	184	110
合計	708	1076	825

(H18 雄物川河川空間利用実態調査より)

図 7-1 雄物川の河川空間利用状況

6. 河川流況と水質



図 7-2 雄物川的主要な河川空間利用

